

第1回白山市金沢総合車両所松任本所跡地活用検討委員会 議事概要

日時 令和6年7月27日（土）午後3時30分～

場所 白山市民交流センター 5階大会議室

出欠状況 出席19／欠席3

（開会）15：30

（市長あいさつ）

委員会開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

金沢総合車両所松任本所については、閉所の方針が示されて以降、跡地の利活用に係る要望書を提出いただいているほか、多くの方から跡地に関するご心配や様々なご意見が寄せられている。

非常に利便性が高いエリアで、こうした中心市街地の一団の土地が再開発されることは稀で、跡地活用の市としての考えをJR西日本に提言することは「百年の大計」である。

委員の皆様からは、建設的なご意見を賜りたい。

（委員紹介）

（委員長選出）

全会一致により、委員長は竹村裕樹委員に、副委員長は花岡大伸委員に決定。

（諮問）

田村市長より竹村委員長に諮問書を手渡し。

（委員長あいさつ）

今ほど、土地ビジョン策定の諮問をいただいた。とても夢のある話かと思うと同時にハードルも高い話かと思う。令和に入って白山市の都市計画マスタープランや立地適正化計画の策定に委員長として関わったが当時はまだこの話が無く、従来通りの工業地域としての位置づけであった。

跡地面積は13ha以上もあり、兼六園よりも広く、東京ドーム3個分の広い空間。そこに、どんな都市機能が必要なのか。よく都市には「住、働、憩、動」の4要素が必要と言われるが、居住、商業・業務機能だけでなく、情報・文化・交流・防災拠点と言った複合的機能が現代では求められている。これを県民市民として、どのような将来ビジョンを描くかを検討する千載一遇の機会かと思う。

とは言え、ここはJRの土地であり、人様の土地に構想を描くのは恐縮だが、今回は県民

市民が求める夢のあるビジョンをご提案できればという事でご理解いただきたい。実現にあたっては、事業手法などどのようにやっていくかハードルも高く、産学官民がコラボして取り組む必要がある。

まずはどんなビジョンを描き、どう実現するかを皆さんと一緒に知恵を絞っていききたいので、忌憚のないご意見、ご提案をいただければ幸いである。

(協議事項)

(1)金沢総合車両所松任本所跡地活用検討委員会について (説明：事務局)

(2)「金沢総合車両所松任本所跡地」について (説明：事務局)

(質疑)

委員 JR西日本として、どのような取組をしているか、どのような取組方針をしているか、市として知ってることを教えてほしい。

事務局 中の機械は処分し、建物だけ残っている状況。基礎的な調査として建物撤去の調査や土壌調査を進めていると聞いているが、その結果は示されていない。土地利用の活用について具体的な計画はまだと聞いている。まずは地元の意見を聴きながら…ということから、この委員会での議論もJRとして注視しているのではと思う。

委員 時間的なスケジュールは、どのくらいを目途にビジョンを提示するのか。市の方であるいはJRの方でスケジュール感があるのであれば教えてほしい。

事務局 市としては、JRに提言をする立場であり、早めにとっており、年度末までにとりまとめた。ただJR西日本の方で土壌調査などをやっており、その進捗状況をにらみながらになると思う。ビジョン策定に向けて、皆さまからのご意見をとりまとめ、JRでの調査の進捗も踏まえて次回開催時期を決定したい。

委員 既に住宅が隣接して建っている。歴史的にJRで働いていた人が多い地域である。この機会に、道幅が狭いといった住環境について配慮することがあれば、町内会に意見を聴き、それを取り入れた計画にしてほしい。百年に一度の大計だと思うが、市には細かい配慮と地元説明をしていただき、地元の意見が入るよう取り計らってほしい。

事務局 ご指摘ありがたい。鉄道もあるが、人の移動、とりわけ車での移動となると、周辺の道路が広いわけではないので、拡幅・新設も視野に入れなくてはいけない。周りの住環境にも配慮する必要があると思っている。町会長さんに委員に入っていたいたのはそのためであり、ここで議論していきたいのでよろしくお願いしたい。

委員 先程の質問と関連するが、現時点では工業地域となっているが、ここを利用するにあたって、環境的なものもあるが、それ以外の縛りはあるか。

事務局 工業地域ということで、住宅が建たないわけでもないが、ここでの議論は制限なしでやっていただき、その内容次第で都市計画の変更を検討することとなる。しかし、

都市計画の変更は各方面の賛同がないとなしえないという制約はある。まずは、制限がないという前提で自由に考えていただければと思う。

委員 委員会の進め方だが、白山市の未来がある程度決まるということになるので、近くにうるさい建物が建つということもあるが、関係人口を増やすということも大事である。いろんな方から、いろんな意見が出てくるであろう中で、どのように進めていくのか。

事務局 様々な意見が出ると私も思う。まずは実現性があるか、周辺に与える影響はどうか、というところは慎重に考えていく必要がある。実現性の点では、所有者であるＪＲ西日本が同意するかどうか大きなファクターであり、周辺住民の同意ということも検討に加え、できる限り絞り込みをしていきたいと考えている。

委員 地元でも未来を考えた提案をしてほしいと言われている。最後に決めるのはＪＲかもしれないが、夢を語っていきける場にしたいので、宜しくお願いしたい。

委員 夢のある方向性が見いだせたらと思うが、実現性という観点が掲げられた。幅を大きく振った話で言えば、ＪＲが手放すかどうかも含めて、無限に広がる。ＪＲが手放さないという前提だとかなり狭まってしまう。要望できる範囲で、ＪＲが手放すということも含めて考えても良いのか。

事務局 私も夢を語る場というのはあってもいいと思う。実現性についてはレベルにもよるが、財源の問題もあるし、営業をするような施設ということになると採算性の問題も生じるが、まずは夢を語ってほしい。この施設は無理だなと思われるような案についてはレベルを下げるということも必要になると思っている。

委員長 今後出てくると思うが、事業の規模をどうするか、ＪＲ単体か、行政と合同か、デベロッパーが入るのか、構想に合うものにする必要がある。次の段階で議論することになる。

委員 利用に当たって、現地へ行って実感しないとわからないこともある。敷地内に入るといふ交渉はできないか。

事務局 作業は行っていないので危険はないと思われるが、常駐する社員もいない状況なので、可能かどうかはＪＲに掛け合ってみたい。ＯＫなら日程を決めて委員さんに入ってもらふことも検討したい。

委員 今は無人との説明だが、他では不法侵入などを防ぐため更地にするということが多く聞くが、その辺は聞いているか。

事務局 建物が古く、当面壊す予定はないと聞いている。安全性の点ではリスクがあると思うので、ＪＲの対応を注視しつつ、情報収集に努めたい。

委員長 折角の機会なので、委員それぞれから想いや抱負など、順に発言いただきたい。

委員 突拍子もないことは言えないが、「夢」がキーワードであろう。考え方をスポイルするといふものはできない。こんなものがあつたら街がこんな風になるのでは、街の人もこんな風になるのではという思いで議論したい。

- 委員　ハコモノも考えられるが、金沢から電車で１０分、歩いて１分のいい場所である。小倉や長岡のような街づくりを参考に施設提案をしたい。
- 委員　金沢で日銀跡地や都ホテル跡地の再開発に関わっているが、議論の進め方については、跡地にどういうものが必要かの整備方針がまず必要と考える。説明を聞いていると、地域の発展に貢献してきた歴史的な場所で、周辺が居住誘導地域であり、駅南には文化施設が集積している。市内には大学などの高等機関がある。白山市は県内でも数少ない転入超過となっている４つの自治体のうちの一つ。地域の内外から人を呼び込む力があると思う。学生を含めた多様な人々を呼び込んで交流できる場所にすることが大事と考える。
- 委員　夢のある施設、大賛成。町会連の会長として町内会が成り立つことも必要だが、町内会は１年交代も多い中で、年度末までに提言となると大変だと思うので、近隣５町内会の連絡協議会をつくり、町内会の負担を軽減してほしい。
- 委員　アンケートは私個人の意見ではなく町会に持ち帰って答えたいと思う。
- 委員　自宅の土地を買う際、家の前が工場で、このままずっと工場だと思っていた。高い金網で囲われているが、いろんな鳥が巣を作っている野鳥の楽園という状況で不安がある。敷地が広く、学びの場とかいくつかの施設に分かれて置くことになるイメージだが、それをどこに置くかの問題になるのでは。ＪＲに早く提言しないとイケないと思っている。土壌調査については、何があるのだろう。それ次第で何ができるかできないかを考えていきたい。
- 委員　私は７０年住んでる。国鉄松任工場時代は砂利道であった。今回の再開発は非常に興味を持っている。周辺にたくさんの住宅が建ち、スーパーなども建った。相木の開発は、あくまで民間の活力でここまで来たので、我々がこうした方がいい、ああした方がいいというものもあるが、民間の活力に任せればよいと思う。行政が下手に関わるのではなく、民間の活力に任せることが良いと思っている。
- 委員　これを機会に白山市が活性化する施設が建ってほしい。町内では無料駐車場にした方がいいとかいろんな意見が出たが、将来的に過疎化しない、そういう街づくりが出来ればよいと思う。
- 委員　商工会議所としても非常に大きな案件と思っている。これからいろんな方がいろんな意見を出すと思うが、委員になったからには、良い方向性を導ければと思っている。
- 委員　こんな身近に東京ドーム３個分の広さの土地があるとは知らなかった。これからの議論に期待している。
- 委員　先日、議員と意見交換会をした。ある会員が、駐車場がないので非常に困ると言っていた。私もピーノで何か大きなイベントがあると駐車場に困るという思いがある。施設の収容人員に対して駐車場が少なすぎる。いっそのこと、駅南の文化施設を跡地に移し、空いた土地の再利用を別途考えるというのはどうかと思う。

委員 白山市として、子育てにやさしくあってほしい。子どもが遊べる全天候型の施設がなく、福井などに行かねばならない状況。跡地には全天候型の子どもが遊べる施設があってほしい。

委員 初めて知ることがあった。子どもたちのための土地利用に繋がればよいと考える。

委員 子どもたちが少なくなってお年寄りがどんどん増えていく状況にある。その中でお年寄りが集まれて子どもたちとも世代を超えて触れ合える施設があまりないので、そういう施設があってほしい。そういう施設があれば認知症予防にもなるのでは。

委員 学生には50年先100年先もあってよかったと思う施設をと指導している。将来、自分の子どもがあってよかったと思う施設、使い方が変わっても長きにわたって使われる施設であってほしい。

委員 あの施設は松任にとって非常に大きな施設だった。あそこに行くと仕事帰りの方が波のようで、施設の中に入ると浴場にたくさんの人がいてすごいエネルギーを感じていた。松任にふさわしくないほどのエネルギーで誇りに思っていた。松任にこういうところがあったんだというレガシーを残してほしいという思いがある。昭和のエネルギーを感じられるような施設などを作ってほしい。それが自分の夢だ。

委員 工機部として、小さいころから親しみを持っていた場所。委員の皆さんにはそれぞれの立場からご意見をいただければと思っている。

委員 松任駅に近く大きな一等地なので、将来の子どもたちに悔いのない良いものになるよう議論できればと思っている。

(協議事項)

(3)委員への跡地利用アンケートの実施について (説明：事務局)

(質疑)

委員 アンケートの趣旨はわかったが、委員にではなく、一般市民に向けてアンケートを取ることは考えているのか。

事務局 本来はより多くの方の意見を伺うのが本来のやり方で、市の土地ならそうするところだが、今回はあくまでJRに提言をする形なので、一般市民向けのアンケートはしない。そのかわりに多くの方に委員になっていただいたところである。

(今後のスケジュールについて) (説明：事務局)

(閉会)

アンケートは8月末までに返送いただきたい。

次回開催時期、現地視察の可否等は、別途案内する。

今後とも協力を賜りたい。以上で本日の委員会を終了する。

(終了) 17 : 07